

# 緑の風 FAX版



NO. 98 2022年2月24日 JR東労組

JR 東労組ホームページ

**JR総連の旗のもとに集う仲間が結集し、統一要求・統一闘争でたたかうことを確認！**



**2022 JR総連春闘勝利！！総決起集会**

## 次第

1. 開会あいさつ
2. 主催者あいさつ
3. 問題提起
4. 各単組・労連決意表明
5. まとめ
6. 集会アピール
7. 閉会あいさつ
8. 団結ガンバロー

## 集会アピール

JR総連は本日、「2022 JR総連春闘勝利！！総決起集会」を開催した。参加したすべての加盟各単組・労連の仲間から、2022 JR総連春闘勝利に向けた力強い決意表明を受け、「統一要求・統一闘争」というJR総連春闘方針の下、春闘勝利にむけてたたかい抜く決意を、すべての参加者とともに確認した。

第44回定期中央委員会で決定した「ベア要求 6,000円」「定期昇給完全実施」「総合労働条件の改善」という「統一要求」は、コロナ禍での業績悪化を理由に厳しいたたかいとなった21春闘を総括し、全組合員の怒りを結集した要求である。各単組・労連の団結と連帯をさらに強化し、たたかい抜こう！

私たちを取り巻く情勢は厳しさを増している。長期化する新型コロナウイルスの影響は「K字回復」という、企業業績の二極化を生み出した。経団連は22春闘について、企業業績の良し悪しで分け、それに呼応するようにJRの経営陣は「ベアの前に定期昇給をどうするかが問題だ」と、組合員の生活実態など一切考慮しない姿勢を打ち出している。

我々は、このような経営陣の姿勢を許さない！新型コロナウイルス感染症のリスクと向き合い、安全・安定輸送、収入の確保、新たな会社施策に真摯に取り組み、厳しい環境にあっても会社の成長につなげてきたのは、わが組合員の並々ならぬ力の結晶である。一方、組合員の生活は物価上昇や社会保障に対する負担増などが直撃し、期末手当の低額支給なども相まって、苦しくなるばかりである。さらに子育て世代の組合員は、子の成長に伴う負担が大きいのしかかっている。これらは組合員にとって「いのちと生活にかかわる問題」である。

我々は組合員の描かれた「生活実態」と「労働実態」を堂々と前面に打ち出し、たたかいをつくり上げよう。我々の現実を直視しない会社回答は断固として跳ね返そうではないか！そのために極めて有効な手段は「統一闘争」である。本日確認したたたかひの陣形を揺るぎないものとし、各単組の持つ力を相乗的に強化していこう！

連合加盟組織の現状を顧みれば、連合方針どりに要求を掲げている産別は少数であり、「統一闘争」の体をなしていない。JR連合にいたっては「労働生産性を高めるための変革に取り組む」などと、会社にすり寄っている。労働組合の良心はどこにいったのか！

JR総連、加盟各単組・労連は「本物の労働組合」として、組合員に寄り添い、未来に責任を持ち、苦しい中であっても、決してひるむことなく、たたかい続けていく。

今、日本は平和の危機にある。今夏の参議院議員選挙と併せて、憲法改正の国民投票も画策されている。我々は組合員の生活の基盤である平和を守るため、参議院議員選挙に勝利し、改憲勢力の過半数割れを実現しなくてはならない。JR総連と最も政策の近い比例候補は、自治労出身の「鬼木まこと」予定候補である。

今こそ、単組・労連・地協の力を結集し、2022 JR総連春闘勝利！参議院議員選挙勝利！平和・人権・民主主義を守るたたかひの勝利！にむけて突き進もうではないか！

以上、アピールする。

2022年2月22日  
全日本鉄道労働組合総連合会（JR総連）  
「2022 JR総連春闘勝利！！総決起集会」

2月22日、目黒さつきビル2階会議室においてJR総連主催「2022 JR総連春闘勝利！！総決起集会」が新型コロナ対策としてリモート機能を活用して開催されました。JR東労組からも多くの仲間が結集し、2022 JR総連春闘方針のもと、春闘勝利に向けてたたかう意思統一を行いました。

主催者のJR総連・山口委員長からは「JR総連初の春闘集会である。物価上昇率などを勘案してもベアを要求する根拠は揃っている。情報共有を密にし、連帯してたたかひをつくり出そう」とあいさつがありました。

集会では問題提起や決意表明が行われ、JR東労組からは代表して佐藤中央執行副委員長より要求実現に向けてたたかひをつくり出す決意が述べました。JR総連の旗のもとに集まる全ての仲間と共に、2022 JR総連春闘をつくり出そう！



**2月17日発行の職場討議資料を全組合員で読み合わせしよう！  
要求を実現するため、全組合員が組織強化・拡大のたたかひを実践しよう！**